

西中学校だより

にしとべの丘

全国学力・学習状況調査特集号

2023年10月20日

横浜市立西中学校



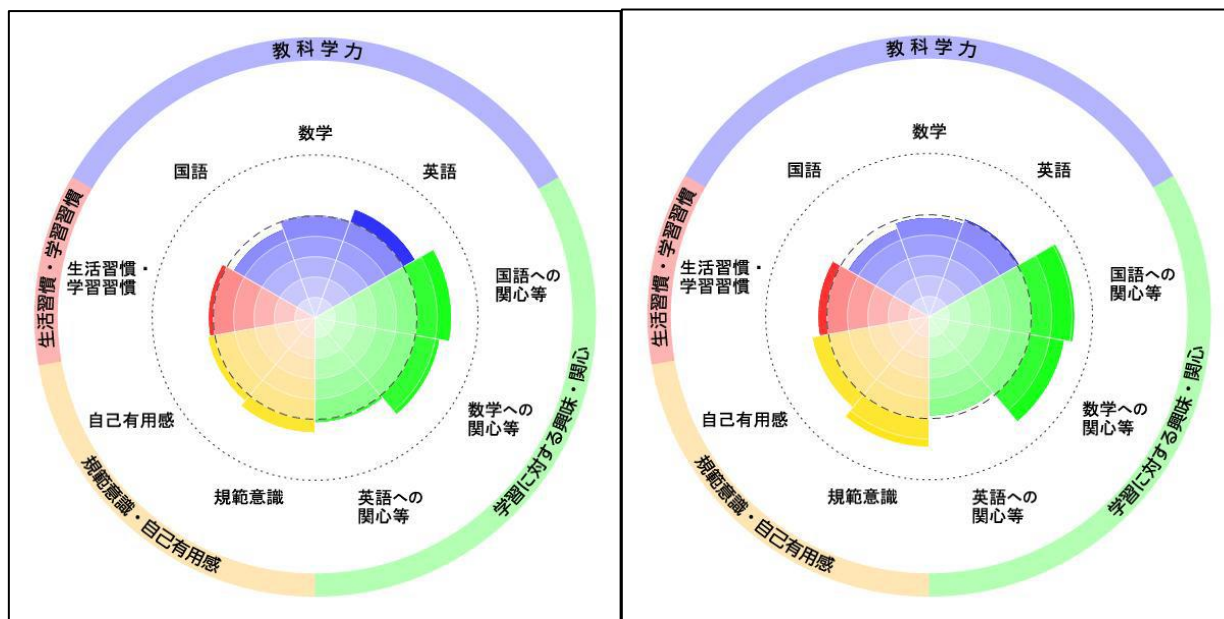
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【調査結果の概要】

令和5年4月18日に全国の国公私立の中学3年生を対象に全国学力・学習調査が実施されました。このうち調査人数は、神奈川県（公立）60,261人、全国（公立）892,738人です。今回の学校だよりでは、令和5年7月31日に公表された横浜市教育委員会による県・全国の調査結果の概要の一部を本校の状況とともにお知らせします。

生徒質問紙（全国基準）

生徒質問紙（神奈川基準）



教科別調査結果（平均正答率%）

	国語	数学	英語	英語（話すこと）
西中学校	66	50	50	20
神奈川県	70	52	50	
全国	69.8	51	45.8	12.4

今年度の調査では、国語・数学においては県や全国の平均を下回っている結果となり、生徒の教科に対する関心は県・全国平均よりも高いので、授業の中で基礎・基本の定着を図ることが大切であると考えられます。

英語は、話すことも含め全国よりも高い正答率となっているので、日々の授業や個々の学習の積み重ねが成果として表れていると考えられます。

【本校における結果報告と分析・課題】

前ページに引き続き、全国学力・学習状況調査の本校における調査結果をお知らせします。なお、この調査結果につきましては、報道等にもあります通り、測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえてとらえる必要があります。保護者・地域の皆様におかれましては、十分にご理解の上、受け止めていただきますようお願いいたします。

（１）全国の正答率と比較して結果に特徴のある観点、または領域（教科別）、および本校の課題と対策

【国語】

全体としては、県や全国の結果よりも下回る結果となりましたが、学習指導要領の内容別に見ると、「思考力・判断力・表現力等」の「書くこと」では県より約2ポイント、全国より約3ポイント、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」では県より約2.5ポイント、全国より+約1ポイント上回る結果となりました。どちらも、ICT機器を活用した文章の作成や推敲といった個人またはグループ活動での学びが結果に結びついたと考えます。

今後の課題は、提示された課題に対して適切な根拠をもとに自分の考えや意見をまとめて伝える力や、周囲の人の考えを受けて自分の考えをまとめる力を伸ばすことです。伝え合う活動を様々な場面で取り入れていきたいと考えています。また、引き続き教え合う活動やICT機器を活用することで、文の組み立てや漢字学習などの基礎・基本の定着を目指していきます。

【数学】

1ページ目の結果からもわかるように全体では、県に-2ポイント、全国に-1ポイントの結果となりました。評価の観点で見ると、「思考・判断・表現」は県より+2.3ポイント、全国より+4.1ポイントとなっています。これは、日々の授業で「教え合い・学び合い」を大切に授業展開している積み重ねの結果が表れたと考えました。また、問題形式でも、記述式の正答率が県より+2.3ポイント、全国より+4.1ポイントの結果からも現れています。

今後の授業でも、ICTを利用した学び合いを充実させ、思考力・判断力・表現力を育む授業実践を計画していきたいと考えています。また、基礎・基本の定着に課題があるので、ICT機器も活用しながら定着を図れるよう指導に努めていきます。

【英語】

聞くこと、読むこと、書くことにおいて半分以上の問題で全国平均を上回る結果となりました。特に聞くことの問題によっては神奈川県と全国の前方を大きく上回る結果となりました。これらの結果の理由としては、次の点が考えられます。

- ・ICT（デジタル教科書）を活用した教科書に関する聞き取り練習（問題）
- ・AETの授業参加率が約50%
- ・授業内での英作文の課題など

これらの日々の活動が今回の結果につながったと考えられます。今後も工夫をしながら取り組んでいき、英語力の向上を図っていきます。

神奈川県の平均と比べると読むことにおいては低い結果となりました。この課題改善のために今後は、教科書の英文を含めて長文やまとまりのある英文を読み、その内容を詳しく理解したり内容に対する質問に答えたりする活動をより多く授業に取り入れていく必要があると考えています。

話すことにおいては全国の前正答率が12.4ポイントと低い中、本校ではそれを上回る結果となりました。また、無答率がどの問題でも低い結果であり、何とか正答を出そうという姿勢がみられました。授業内において言語活動を行っているが、今後も会話による活動をより多く取り入れ、その場で思考判断し状況に応じた会話ができるように指導していく必要があると考えています。

（2）生活習慣・学習習慣（生徒質問調査）の結果から

全国と比べ意識が高いとの結果が出た項目と割合（%）

質問項目 【回答内容】	西中	神奈川	全国
1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 【ほぼ毎日】	82.1	28.8	28.1
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。 【役に立つと思う】	76.8	60.9	58.7
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。 【当てはまる】	57.1	38.0	40.0
人が困っているときは、進んで助けていますか。 【当てはまる】	55.4	36.8	38.4
1・2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。 【当てはまる】	44.6	21.0	22.6
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。 【当てはまる】	44.6	27.8	29.3

全国と比べ意識が低い（課題）との結果が出た項目と割合（％）

質問項目 【回答内容】	西中	神奈川	全国
朝食を毎日食べている。 【している】	71.4	76.6	78.6
毎日、同じぐらいの時間に寝ていますか 【している】	26.8	29.7	34.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか 【当てはまる】	5.4	8.4	12.2

生徒質問調査から学校生活で注目するところの1つ目は、ICT 機器を利用した授業展開を3年前から実施し、今年度もほとんどの授業で毎日利用している点です。普通教室に整備された、プロジェクターやスクリーンによっても効果的に授業を行うことができ、生徒も学習効果を実感している結果となりました。2つ目は、学校生活全般を充実させることができている生徒が多い点です。小規模校の利点を生かした、個に応じた支援の充実（特別支援など）や互いを認め、尊重し合う風土が小学校のころから育まれていることが現れた結果となりました。

また、課題では、基本的な生活習慣の大切さを学ぶ機会を増やし、意識を高めていくことが必要であると考えています。